

平成29年度第2回「生徒による授業アンケート」の集計結果等について（報告）

本校の教育活動につきましては、日頃ご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、このたび第2回「生徒による授業アンケート」を実施し、貴重なデータを得ることができました。その集計結果を受け、各教科で実践してきた授業改善の成果を分析・検討するとともに、授業改善をさらにいっしょに授業の質を今まで以上に高める取組を進めています。

については、各教科における集計分析結果及び授業改善への取組の概要をご覧ください、ご質問・ご意見等、お気づきの点がありましたら、ご連絡くださるようお願いいたします。

〔問合せ先 副校長 (046)241-8002〕

1 アンケートの実施日

平成29年12月21日（木）

2 各教科の集計分析・授業改善（概略）

国語	集計分析	現代文Bでは、7月のアンケートで否定的回答の割合が多かった「興味関心の持てる授業」「以前と比べて達成感がある」という項目に関して肯定的回答の割合が増えたほか、全体的にも評価が上がった。古典Aではほぼ全ての項目で肯定的回答が多く、7月のアンケートに引き続き全体の満足度が高い結果となった。 古典Bでもほぼ全ての項目で肯定的回答が多く、「生徒の発言を大切にしている」「説明が丁寧で分かりやすい」「授業マナーを守っている」では特に高い評価を得られた。現代文Bと古典Bでは、「予習・復習をしている」の項目での否定的回答の割合に大きな変化は見られなかったため、引き続き指導が必要であると考えます。
	授業改善	現代文Bは「話し合いや発表をする機会がある」という項目の割合の低さが目立ったので、主体性を持たせた活動を行っていききたい。また、生徒の意欲を引き出せるような教材選択という点も改善していく。古典A・Bはこれまでどおりの指導を継続しながら、授業内容の理解や進捗の設定をより深めることを重視していく。 現代文・古典の双方とも、引き続き予習・復習についての的確な指示が必要と思われる。
地歴・公民	集計分析	授業内容、指導方法の項目については、ほぼすべての項目において70%以上の肯定的回答が見られる。しかし、「話し合いや発表をする機会がある」、「予習復習をしている」の項目では低い評価が見受けられた。
	授業改善	説明や解説などの教員側からの一方的な授業ではなく、生徒が発言や発表する場面を授業の中に組み込んでいきたい。そのような場面を増やし生徒の達成感を高められれば、学習意欲が高まり、授業時間外での学習時間確保にもつながると考える。また、適切な課題をその都度与えることで、予習復習の時間確保にもつなげていきたい。
数学	集計分析	低い評価であったのは「予習・復習」の項目で、50%以上の生徒が否定的回答をしている点が特に気になる部分である。
	授業改善	生徒が意欲的に授業に取り組むことができるよう、興味、関心を深められる授業を行う。生徒の理解度に合った授業展開や発問の仕方を一層工夫すること等により、生徒が毎時間、充実感・達成感を味わえるよう授業改善を図りたい。また、生徒の授業に対する意欲は十分に感じられるので、課題の頻度を上げること等により、生徒自身が自学自習する習慣を身につけさせ、授業にも積極的に参加できるようにさせていきたい。
理科	集計分析	化学基礎(文系)では、7月のアンケートと比べて各項目で評価を下げている。化学基礎研究(理系)は、各項目で肯定的回答をしている生徒が多いが、「予習・復習」の項目で約40%の生徒が否定的回答をしている。 物理基礎研究では、ほとんどの項目で70%以上の満足感を得ているようだが、予習・復習をしていない生徒が少なからずいる。 生物基礎研究では、全体的にみると7月のアンケートとほぼ同じ結果だが、個別にみていくと意欲的に学習している者とそうでない者との差が広がっている。学習習慣をしっかりと身につけ、自分の進路希望が実現できるように努力してほしい。
	授業改善	化学基礎(文系)では、授業展開のしかたをさらに工夫していく必要がある。化学基礎研究(理系)では、難易度が上がっていくため、生徒が達成感を味わえるようにさらに教材に工夫を凝らしていきたい。また、復習としての課題を準備し、自学自習の習慣をつけさせたい。 物理基礎研究では、生徒の段階に応じて課題や小テストを実施し、予習・復習の習慣をつけさせたい。 生物基礎研究では、基礎的な内容を確認しながら発展的な内容にも取り組めるように、引き続き工夫をしていきたい。

平成29年度第2回「生徒による授業アンケート」の集計結果等について（報告）

保健体育	集計分析	<p>体育においては、殆どの項目について80%以上の生徒が肯定的回答だが、武道においては、「興味・関心のもてる授業」、「きめ細かい指導」の項目で80%を下回っていたことから、授業改善の必要性を感じた。また、「話し合いや発表をする機会」、「わかる努力」、「予習・復習」の項目において80%を下回っていたのは、実技科目であるためと考えられる。</p> <p>保健においても、殆どの項目について80%以上の生徒が肯定的回答だが、「わかる努力」、「予習・復習」など評価の少し低い項目もみられるので、授業改善の必要性を感じた。</p> <p>スポーツ概論・スポーツ科学研究においては、学習内容がやや難しいことは否めず、「理解しにくい」、「取り組みにくい」と感じる生徒が20%近く存在することから、やはり授業改善が必要という結果となった。</p>
	授業改善	<p>種目選択制、男女共習の授業形態が定着した。生徒自身が課題を見つけ、教えあい、学びあいをすることができるように、教員の指導に関して情報共有、および研修をしていく。</p> <p>また、種目選択制になったことに伴い、設定種目や同時展開の場所の工夫などについてさらに検討する。</p>
芸術	集計分析	<p>どの項目においても概ね肯定的な評価を得ている。苦手意識の高い専門的な単元を進めていたが、生徒たちがより興味を持って積極的に臨める授業となっている。生徒の実態に応じたわかりやすい授業づくりは、理解度と達成感の向上へと繋がっている。</p>
	授業改善	<p>生徒の実態に応じた教材の精選や、個人の能力に応じた、よりわかりやすい授業は今後も継続していく。「発表」や「話し合い」に関しては生徒の主体的な活動を増やし、より他者の意見も取り入れた創作をしていく。授業外での生活の中でも進んで芸術活動に取り組む意識を持たせることで、予習・復習の充実へと繋げていく。高校卒業後も、芸術によって生徒自身の人生を豊かにできるように工夫をしていきたい。</p>
英語	集計分析	<p>コミュニケーション英語、英語表現 とともに多くの項目で肯定的回答が得られた。コミュニケーション英語では習熟度別授業を行っているので、レベルに合った指導が結果にも反映されていると思われる。特に、「チャイムと同時の授業」、「板書や資料、話が分かりやすい」、「授業マナーを守っている」の項目で高評価が得られた。一方で、「わかるうとする努力をしている」、「予習・復習をしている」の項目は否定的回答の割合が若干増えるという結果になった。</p>
	授業改善	<p>習熟度別授業の利点を活かし、生徒が満足感や達成感を味わえるようこれからも一人ひとりにきめ細やかな指導をしていきたい。そして生徒が意欲的に授業に参加できるよう、興味関心を深める授業展開の改善を図っていく。予習・復習については次の授業につながるような課題の指示や授業の内容が振り返られるような課題の指示を的確に行い、英語にもっと自信をもって臨めるよう指導、助言をしていきたい。</p>
家庭	集計分析	<p>授業内容・指導方法ともにおおむね肯定的回答を選んでいる。調理理論・調理実習の授業では、専門用語や実習内容が「理解しにくい」と感じた生徒も見受けられた。</p>
	授業改善	<p>生徒が安全かつ積極的に参加できる授業内容と指導方法の工夫に努めたい。ワークプリントをわかりやすくしたり、話し合いや発表をする機会を増やすことで、他者の意見などからも関心や意欲をもたせられるようにしたい。また、授業目標を明確にし、達成感が持て生活に活かせるように工夫していきたい。</p>